

平成28年度 事務事業マネジメントシート

事業名	学校への出前授業事業			会計	款	項目	大事	小事
政策	03	3節	学び、受け継がれ、進展する流山（教育・文化の充実向上）	主管課	図書・博物館			
施策	3-4	ながれやま市民文化の継承と醸成		主管課長	小栗 信一郎			

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	小・中学生・高校生・各種団体	意図	学校教育や生涯学習の現場で、流山市の歴史や文化財について理解を深めてもらう。
事業内容	この事業は、小学校3年生の社会科単元「かわってきた人々の暮らし」に対応して、学校への出前授業や学校からの団体見学で企画展「ちょっと昔の暮らし」の説明をはじめ、小・中学生・高校生の職場体験、学校及び各種団体への講師派遣などが主体である。また、発掘現場や市内文化財などの野外授業、博物館や埋蔵文化財整理室での実務など、実際の現場や実物の資料・写真などを取扱いながら講義を行う。			
事業開始から現在までの状況変化	社会科単元の「かわってきた人々の暮らし」の対象学年が4年生から3年生に移行している。小・中学生の発掘現場見学は発掘調査が減少したため機会が少なく、出前ではなく博物館に来訪してもらう形になるなど、野外活動が減ってきている。職場体験や講師派遣については、能動的でなく受動的である。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成26年度	平成27年度	平成28年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）	
	①	出前授業参加者数	565	708	1,178	人	↑↑↑	
②	小学校団体見学参加者数	907	615	1,108	人	→→		
③	職場体験	5	15	15	人	→→		
④								
⑤								
⑥								
指標で表すことができない定性的な成果						目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） 学校教育用のバスが確保できない中で、出前授業のニーズが高くなっている。		
事務事業のコスト		平成26年度	平成27年度	平成28年度				
事務事業の総コスト(a=b+c)								
事業費(b)(円)								
うち一般財源								
職員給与費(c)(円)								
人役・職員(人)								
人役・再任用(人)								
人役・臨職(人)								
人役・嘱託(人)								
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）								
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）								

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H28)の改善計画	参加者数の増加。	③取組の課題	市内小中学校への博物館利用を促進する。
②今年度(H28)に実施した取組	前年に比べ、出前授業の参加数が大きく伸びた。	④今後の改善計画	学校との連携を深める。